

平成 17 年 5 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 3 月 31 日

会社名 カネコ種苗株式会社
 (URL <http://www.kanekoseeds.jp>)

(JASDAQ・コード番号 : 1376)

代表者 役職名 代表取締役社長
 氏名 麻生 潔
 問い合わせ先 責任者役職名 常務取締役財務部長
 氏名 長谷 浩克

T E L : (027) 251 - 1619

1 . 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) ・税金費用等の計算について一部簡便な方法を採用しております。
 ・内部売上高等の消去について一部簡便な方法を採用しております。
 ・固定資産の減価償却の方法について簡便な方法を採用しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2 . 平成 17 年 5 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 16 年 6 月 1 日 ~ 平成 17 年 2 月 28 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 5 月期第 3 四半期	25,301	(0.1)	209	(-)	254	(-)	162	(-)
16 年 5 月期第 3 四半期	25,326	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
(参考) 16 年 5 月期	43,884		995		1,041		519	

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 5 月期第 3 四半期	13	89		
16 年 5 月期第 3 四半期				
(参考) 16 年 5 月期	42	67		

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。
 2. 当第 3 四半期より四半期財務・業績の開示(売上高を除く)を行っておりますので、前年同四半期実績及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 3. 潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期のがわが国経済は、当初、企業業績の改善に伴う設備投資の増加や個人消費も堅調に推移するなど、緩やかな回復基調がみられたものの、原油価格の高騰、円高や米中の景気にやや翳りが見られることによる輸出減速などの懸念材料もあり、先行きの不透明感が広がってまいりました。また、国内農業の状況は、輸入農産物の増加や農業従事者の高齢化といった構造問題に加え、台風や地震による農業への被害も懸念されます。

こうしたなか、当社グループにおきましては、原油価格高騰の影響を受けた商品価格の上昇に伴う駆け込み需要により施設材事業において売上増があったものの、種苗事業で公共工事の減少などによる緑化工事用種子の売上減や、花き事業で需要低迷による園芸資材の売上減があり、当第 3 四半期の連結売上高は 253 億 1 百万円で前年同期比 24 百万円 (0.1%) 減となりました。しかしながら、前述の施設材事業の売上増や、野菜や花の自社オリジナル商品の伸長、また、農材事業の利益率の向上により、利益面では順調に推移し、経常利益 2 億 54 百万円、四半期純利益 1 億 62 百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年5月期第3四半期	26,028	8,075	31.0	690 74
16年5月期第3四半期				
(参考) 16年5月期	34,725	8,019	23.1	683 14

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年5月期第3四半期	2,432	160	1,915	1,207
16年5月期第3四半期				
(参考) 16年5月期	1,899	549	817	1,883

(注) 当第3四半期より四半期財務・業績の開示を行っておりますので、前年同四半期実績については記載しておりません。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状態は、総資産が前連結会計年度末と比較して86億97百万円減少いたしました。これは主に売上債権及び仕入債務の減少によるものであります。なお、この売上債権及び仕入債務の減少は、営業活動の季節変動が大きい当社グループの特徴であり、当社グループの第3四半期の財政状態としては通常の状態であります。

また、連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。営業活動によるキャッシュ・フローは、主に仕入債務の減少額及びたな卸資産の増加額が売上債権の減少額を上回ったことにより、資金は24億32百万円減少いたしました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得により、資金は1億60百万円減少いたしました。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に営業活動等で使用した資金を短期借入金で調達したことにより、資金は19億15百万円増加いたしました。

[参考]

平成17年5月期の連結業績予想(平成16年6月1日~平成17年5月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	44,000	1,200	600

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 49円61銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想については、平成17年1月26日の中間決算発表時に公表しました業績予想を多少下回ると見込んでおります。しかしながら、経常利益及び当期純利益は、前年比で多少の増益を予想しております。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。